

言語文化教育研究学会 第6回年次大会プログラム (於 同志社大学京都今出川キャンパス)

一日目：2020年3月7日 (土)

9:00	受付開始 (弘風館 4階 K48) *開会式・委員企画フォーラム・大会シンポジウム会場と建物が異なります。			
9:30-9:50	開会式 (良心館 RY103)			
10:00-11:40	委員企画フォーラム (良心館 RY101)			
ワールドカフェ：「クリエイティビティとはなにか？ 日常から教育・研究まで」 ファシリテーター：牲川波都季 (関西学院大学), 宮本敬太 (グットハーモニー協同組合), 川光真二 (関西学院大学), 田嶋美砂子 (茨城大学), 浅津嘉之 (関西学院大学), 佐野香織 (早稲田大学), 北出慶子 (立命館大学), 前野文康 (KIJ 語学院), 木谷真紀子 (同志社大学)				
11:45-12:30	総会 (良心館 RY103) ※会員の皆様は必ずご参加ください (総会会場での食事はできません)			
12:30-	ポスター掲示 (弘風館 K22, K24, K32) ※掲示期間は二日目 14:20 まで。期間中は自由に閲覧・コメント記入可能			
12:30-13:30	昼休み			
13:30-16:00	大会シンポジウム (良心館 RY103)			
言語文化教育とクリエイティビティ (Creativity) 佐々木雅幸 (同志社大学), 佐藤博志 (筑波大学), 吉田真理子 (津田塾大学) 司会：飛田勘文 (早稲田大学)				
16:15-18:55	口頭発表 (至誠館・弘風館)			
第1会場 至誠館 S2	第2会場 至誠館 S4	第3会場 弘風館 K25	第4会場 弘風館 K31	第5会場 弘風館 K35
①16:15-16:45 「多面的研究プロジェクト」の有効性—言語イデオロギー研究に焦点をあてて— (田嶋美砂子：茨城大学)	①16:15-16:45 外国人保護者と保育園のコミュニケーション—対話とかわり合いに向けた実践研究 (井出里咲子：筑波大学, 井濃内歩：筑波大学)	①16:15-16:45 大学留学生対象日本語科目における「ことばをつくる」学びを考える—ジェネレーターとしての視点から (佐野香織：早稲田大学)	①16:15-16:45 日本に定住する難民の「ライフ」と日本語—ミャンマー出身難民の語りから— (古川千種：東京女子大学)	①16:15-16:45 「配慮」の役割を果たす医療隠語の使用実態—救命救急科の看護師へのインタビュー調査から— (ポボヴァ・エカテリーナ：大阪大学)

言語文化教育研究学会 第6回年次大会 言語文化教育とクリエイティビティ (Creativity) 予稿集

<p>② 16:55-17:25 「価値」創出の原理としての現象学—日本語教育学における質的研究の観点から</p> <p>(稲垣みどり：東京国際大学)</p>	<p>② 16:55-17:25 「よりよい」地域日本語教育を目指す—ある地方都市での取り組みから—</p> <p>(飯野令子：常磐大学)</p>	<p>② 16:55-17:25 サービスラーニングとしての日本語教育実習—台湾の日本語学科の事例から—</p> <p>(中村香苗：淡江大学)</p>	<p>② 16:55-17:25 複言語環境において育った学習者のアイデンティティの変容：十全参加のための「投資」が「豊かな投資」になるまで</p> <p>(吉田真美：京都外国語大学，崔允誌：京都外国語大学)</p>	<p>② 16:55-17:25 外国人介護人材のキャリアに寄り添う日本語学習支援とは</p> <p>(小川美香：国際医療福祉大学)</p>
<p>③ 17:35-18:05 ベトナム国家大学における日本語教材の使用現状と課題—日本語授業以外の専攻科目を中心に—</p> <p>(タン・ティ・ミ・ビン：ハノイ国家大学)</p>	<p>③ 17:35-18:05 「日本語指導が必要な外国人児童生徒」研究における批判的談話分析アプローチの必要性</p> <p>(村上智里：関西学院大学)</p>	<p>③ 17:35-18:05 日本語支援ボランティア養成講座のあり方を再考する—講座参加者の日本語支援ボランティア・養成講座に対する意味づけから—</p> <p>(内山喜代成：名古屋学院大学，梶原彩子：名古屋学院大学，松本美紀：多文化共生ひがしうら)</p>	<p>③ 17:35-18:05 留学生の創造的日本語使用とアイデンティティ—教室外のことばの実践を教育にどう生かすか</p> <p>(井濃内歩：筑波大学)</p>	<p>③ 17:35-18:05 ブラジル日系コミュニティにおける日本語学校の両義的役割—教師と学習者の日常的実践—</p> <p>(中澤英利子：横浜市立大学)</p>
<p>④ 18:15-18:55 言語文化教育における相互文化仲介 intercultural mediation 概念による創造と発展</p> <p>(細川英雄：言語文化教育研究所)</p>	<p>④ 18:15-18:55 鮎川哲也『ペドロフ事件』に描かれた、1940年代の旧満州地域における多言語状況</p> <p>(岡田祥平：新潟大学)</p>	<p>④ 18:15-18:55 言語学習はいかなる意味で自己表現であるのか—「私はなぜ日本語を学ぶのか」を考えるライフヒストリークラスの実践からの考察—</p> <p>(原伸太郎：立命館アジア太平洋大学，高松知恵美：立命館アジア太平洋大学)</p>	<p>④ 18:15-18:55 ある在日コリアン 3 世の言語学習経験—学習したい言語と学習すべき言語—</p> <p>(周正／中尾未来：民間企業)</p>	<p>④ 18:15-18:55 多様な日本語使用者を包摂するための言語的多数派への働きかけの検討—講義の社会的インパクト評価による分析—</p> <p>(伴野崇生：慶應義塾大学，杉原由美：慶應義塾大学)</p>
<p>19:15-21:15 懇親会 (アマーク・ド・パラディ 寒梅館) ※事前申し込みが必要です。</p>				

二日目：2020年3月8日(日)

9:30 受付開始 (弘風館 4階 K48)			
10:00-11:40 フォーラム (弘風館)			
第1会場 弘風館 K31		第2会場 弘風館 K35	
漢字学習と創造性—漢字マップを通して楽しさ・意義・創造性を考える— (関麻由美：津田塾大学, 本土勝巳：芦屋大学, エドワード・リー：マレーシア日本語協会)		成長し続ける教師のための省察的実践と未来展望の創造—持続可能性のある教師コミュニティへ— (中井好男：同志社大学, 北出慶子：立命館大学, 平野莉江子：立命館大学, 大河内瞳：立命館大学)	
11:40-12:20 昼休み			
12:20-14:20 ポスター発表 (弘風館) 前半 (12:20 - 13:20)			
	第1会場 弘風館 K22	第2会場 弘風館 K24	第3会場 弘風館 K32
A	「キャラ」形成を支援する教育の試み—ゴフマン理論の日本語教育への応用— (荒井美咲：東北大学)	日本語教育学を専攻した中国人大学院生のキャリア選択—日本語教師にならなかった要因分析— (稲田栄一：立命館アジア太平洋大学)	「共に考える」ことを中心に置いた地域住民参加型日本語コミュニケーション授業—共生社会の創造を目指して— (家根橋伸子：東亜大学, 金丸巧：東亜大学)
B	学習者の語りは表現方法によってどのように変わるか：ビジュアルと文章の比較を通して (水戸貴久：別府溝部学園短期大学, 鈴木栄：東京女子大学, 松崎真日：福岡大学)	新人日本語教師 Mさんはなぜ日本語教師を続けなかったのか—日本語教師養成の課題— (高井かおり：明星大学)	「地域の魅力発信ポスター」制作を通して生まれた留学生と地域のつながり (金丸巧：東亜大学)
C	母語場面と接触場面での雑談におけるナラティブの語り—先行発話との関わり— (張麗：立命館大学)	ボランティア日本語教師のビリーフに関する考察—PAC分析を用いた事例研究— (黒岩瑞稀：立命館大学)	学習者のクリエイティビティを活かしたシナリオ作成の日本語教育実践—創造に潜むステレオタイプの意識化と批判的省察の可能性— (寅丸真澄：早稲田大学)

ポスター発表 (弘風館) 後半 (13:20 - 14:20)				
	第1会場 弘風館 K22	第2会場 弘風館 K24	第3会場 弘風館 K32	
D	音声指導に対する教師の態度と母方言 (高村めぐみ：愛知大学)	就業体験研修時の学びに与えるカリキュラムと教員の期待のインパクト (武田誠：早稲田大学)	中国江蘇省の児童期から青年期の若者による日本イメージとその形成要因—12歳から22歳までの年齢による比較— (虞勤縁：立命館大学)	
E	「社会参加を促す場」としてのタンデム学習—相互行為に焦点を当てた混合研究法を通して— (守屋亮：早稲田大学, 迎明香：早稲田大学)	ある地域日本語教室の長期活動と運営の要領を探って—マイクロ・メゾ・マクロの視点から— (バナ登美子：立命館大学)	ふりかえるとそこは創造性あふれる現場だった—外国人留学生向け日本事情クラスの実践報告— (川上ゆか：広島修道大学)	
F	技能実習生活における学びと地域の日本語教室への意味付け—ある技能実習生のライフストーリーから— (村田竜樹：名古屋大学)			
14:30-16:30 パネルディスカッション (至誠館・弘風館)				
	第1会場 至誠館 S2	第2会場 至誠館 S4	第3会場 弘風館 K25	第4会場 弘風館 K31
	声の獲得とクリエイティビティ (西口光一：大阪大学, 百濟正和：関西国際大学, 小原俊彦：大阪大学)	越境による「第三の知」創造を目指した実践—交差と衝突による変容から言語文化教育の展望を考える— (北出慶子：立命館大学, 香川秀太：青山学院大学, 山口洋典：立命館大学, 義永美央子：大阪大学)	「場」を問い直す「場」—研究と実践の蓄積と体系化を目指して— (八木真奈美：駿河台大学, 大平幸：山梨学院大学, 嶋津百代：関西大学, 三代純平：武蔵野美術大学)	理念と実践の関係を考えるための協働的評価—教師間の対話と内省プロセス— (広瀬和佳子：神田外語大学, 市嶋典子：秋田大学, 寅丸真澄：早稲田大学, 牛窪隆太：東洋大学)
16:30	閉会			